

2023年4月17日

## 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2023年1月、2月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

### 概要

全国景気*	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
1月の生産動向	生産は足踏みがみられる
2月の個人消費	乗用車新車販売は2カ月連続で前年を上回る
2月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る
2月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年を下回る
2月の雇用情勢	有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る
今後は、物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年3月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

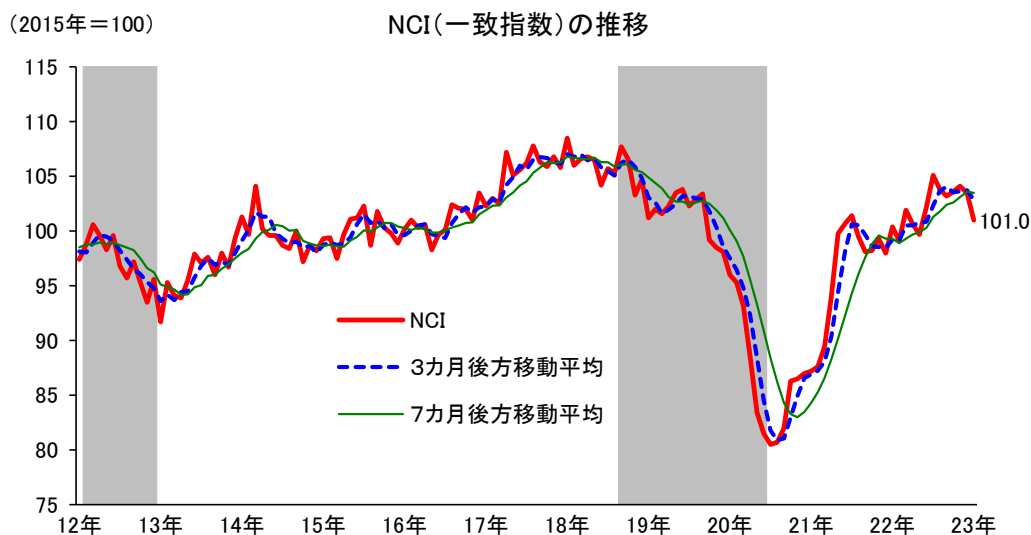
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

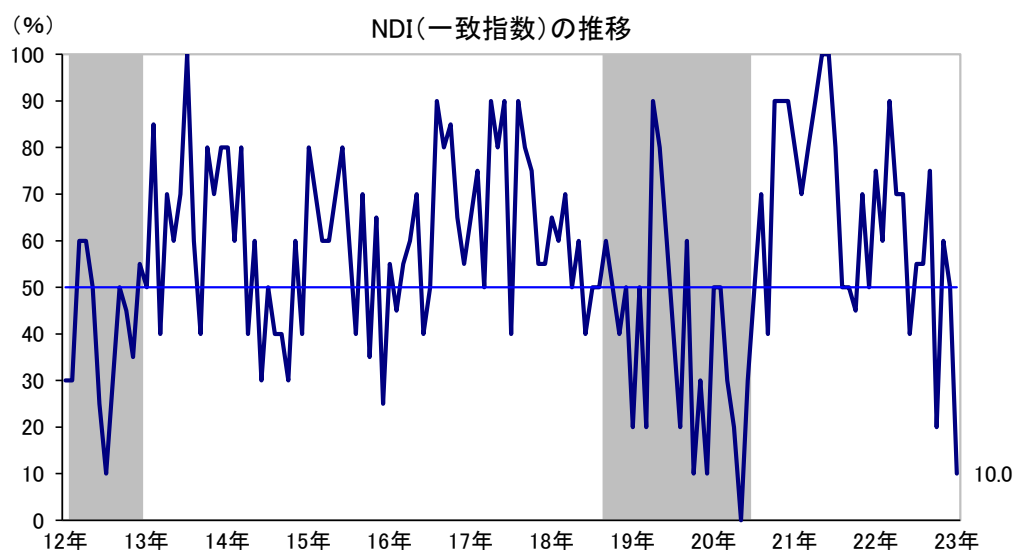


## 景気動向指数

- 1月のNCI(一致指数)は、101.0と前月と比較し△2.5ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.9ポイントと3カ月ぶりに低下し、7カ月後方移動平均も同△0.1ポイントと11カ月ぶりに低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- NDI(一致指数)は、10.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%と3カ月ぶりに下回った。



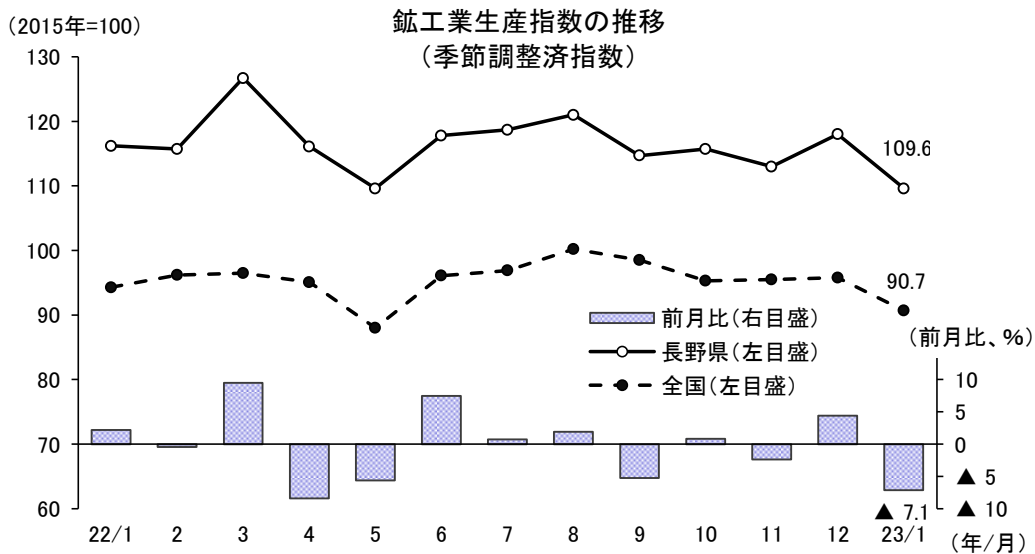
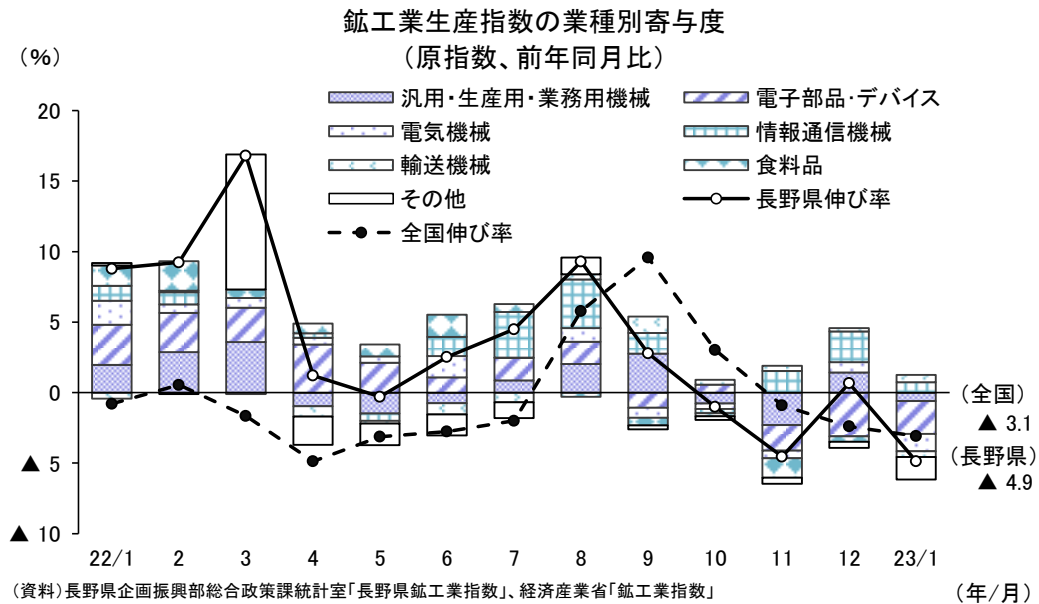
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

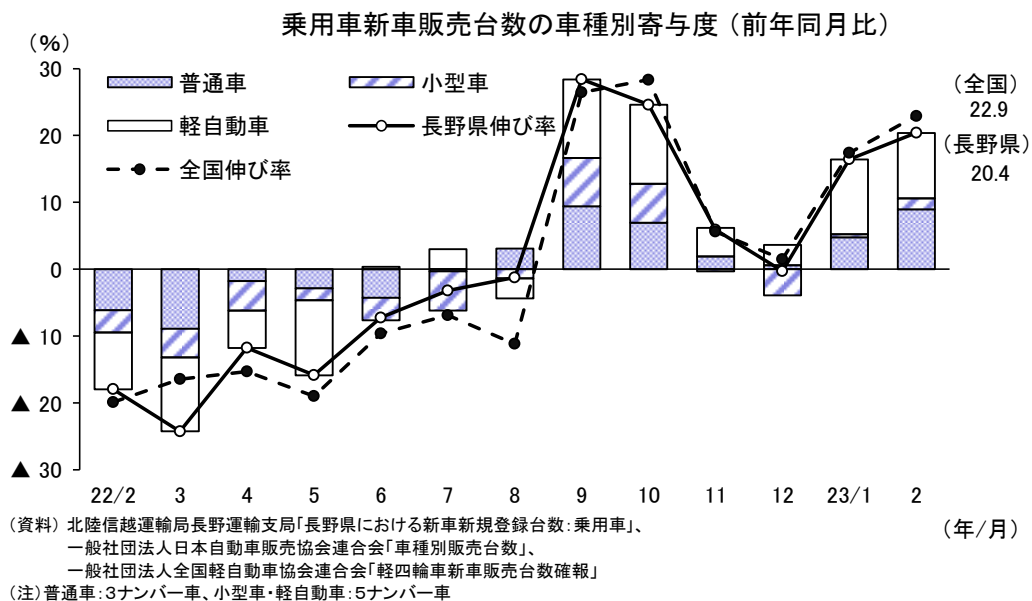
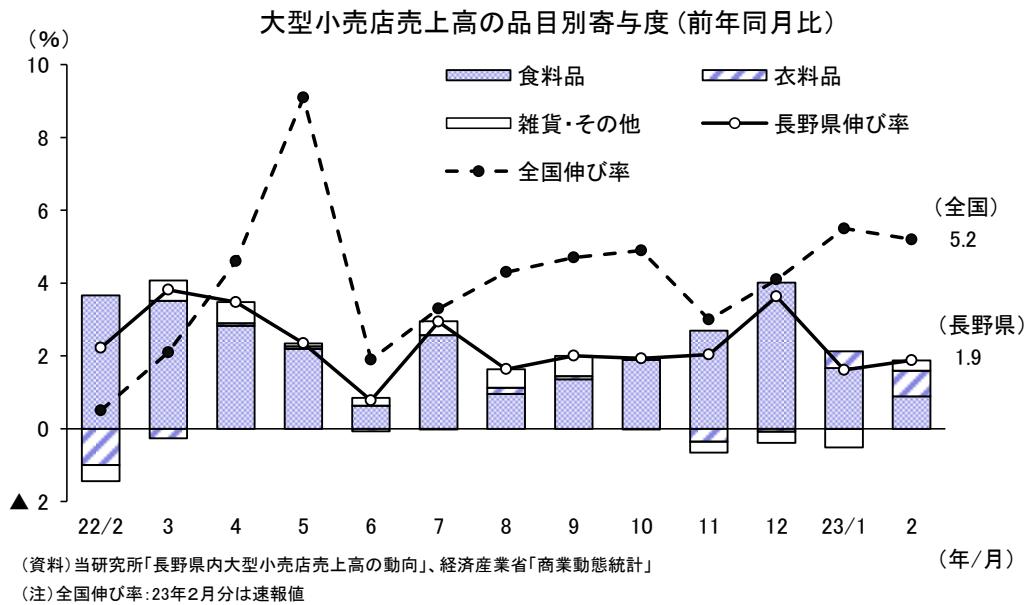
## 生産は足踏みがみられる

- ・1月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△4.9%、季節調整済指数が前月比△7.1%となった。
- ・原指数は2カ月ぶりに前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「汎用・生産用・業務用機械」、「電子部品・デバイス」、「電気機械」、「食料品」などが前年を下回った。



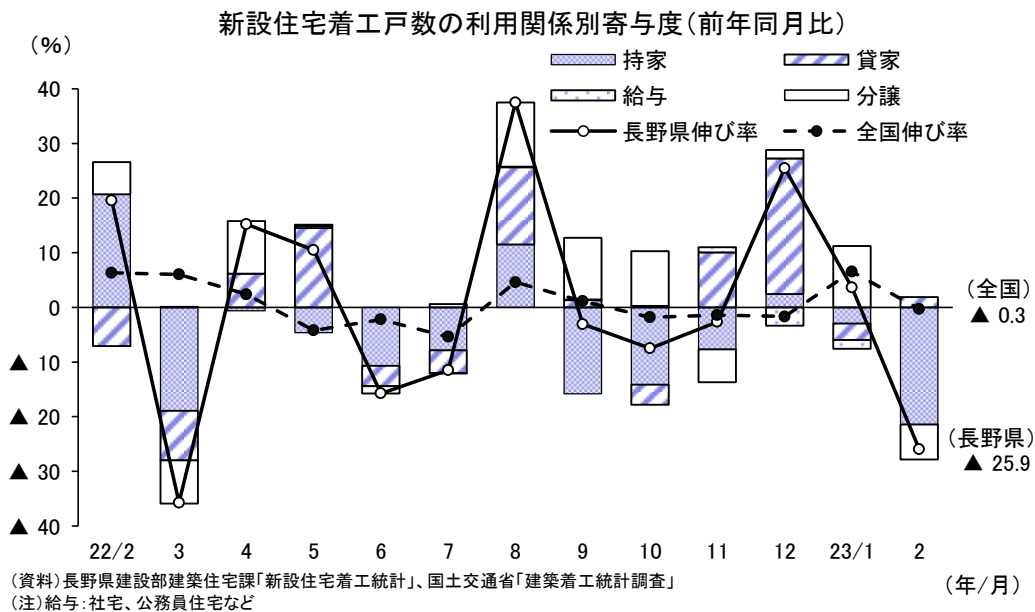
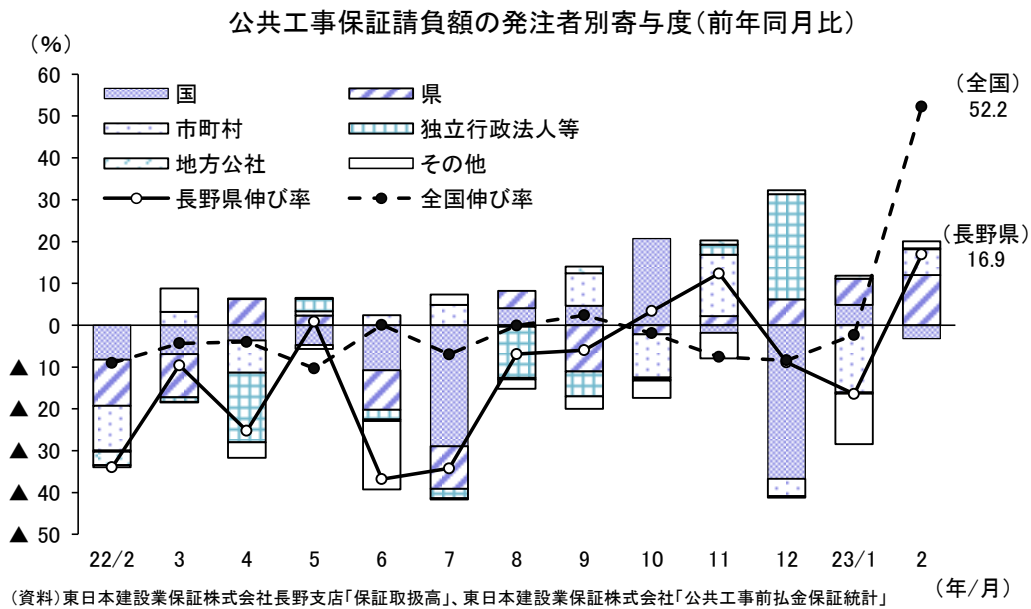
## 乗用車新車販売は2カ月連続で前年を上回る

- 2月の大型小売店売上高は、前年同月比+1.9%（売場面積調整前）となり、17カ月連続で前年を上回った。食料品は、総菜や菓子などが堅調だったほか販売価格の上昇などもあり、同+1.0%となった。衣料品は、春物の出足が順調だったことに加え、まん延防止等重点措置が適用された前年の反動などもあり、同+17.8%となった。雑貨・その他は、化粧品などの売上げが増加し、同+3.2%となった。
- 2月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善しており、前年同月比+20.4%と2カ月連続で前年を上回った。軽自動車は同+21.8%と6カ月連続で、普通車は同+28.7%と7カ月連続で、小型車は同+6.9%と2カ月連続で前年を上回った。



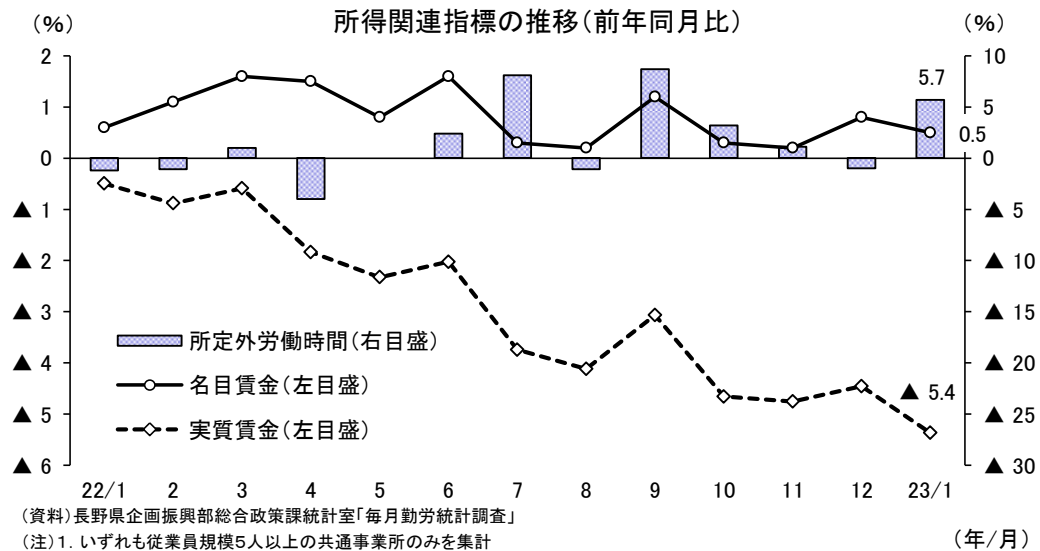
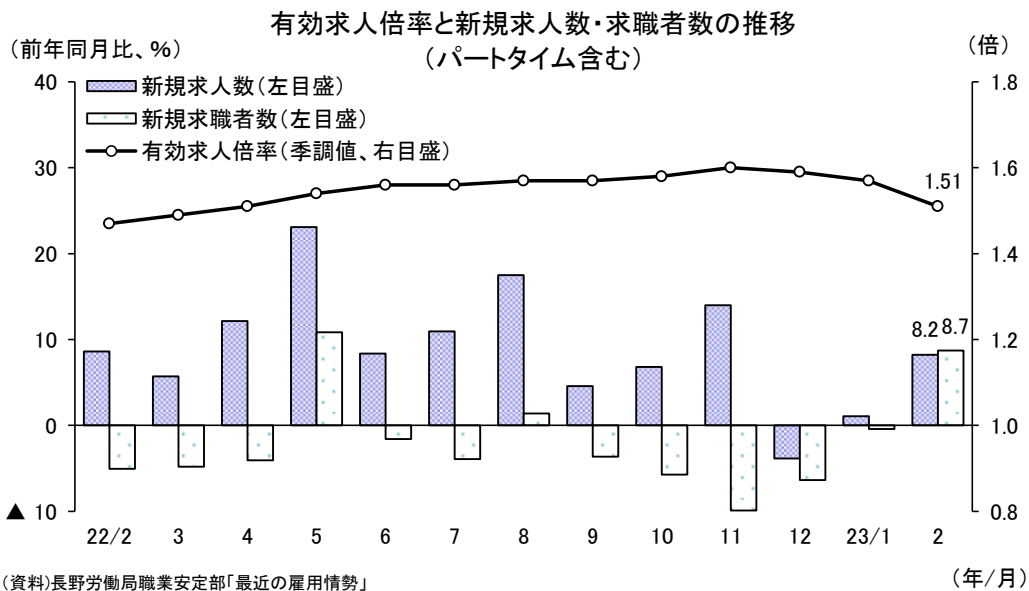
## 公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る

- ・2月の公共工事保証請負額は、前年同月比+16.9%の106億2,400万円となり、3カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国が同△9.1%と減少したものの、県が同+26.2%、市町村が同+35.4%、その他が同+86.0%と増加した。
- ・2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△25.9%の702戸と3カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+9.6%と増加したものの、持家が同△34.0%、分譲が同△37.7%と減少した。



## 有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

- ・2月の有効求人倍率は、前月比△0.06ポイントの1.51倍と、3カ月連続で前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比+8.2%となり、2カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同+7.5%、パートは同+12.7%となった。主要産業別では、製造業が△4.9%、建設業が同△2.4%と前年を下回ったが、宿泊業・飲食サービス業が同+34.0%、医療・福祉が同+15.1%、卸売業・小売業が同+0.6%と前年を上回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+8.7%と6カ月ぶりに前年を上回った。
- ・1月の名目賃金は前年同月比+0.5%と21カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△5.4%と13カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同+5.7%と、2カ月ぶりに前年を上回った。



# 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

## 有効求人倍率は29カ月連続で全国を上回る

- ・2月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月と変わらず1.50倍、東信が前年同月比△0.01ポイントの1.58倍、中信が同+0.17ポイントの1.64倍、南信が同+0.02ポイントの1.57倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯山が1.89倍と最も高く、次いで松本が1.67倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は29カ月連続で全国を上回ったが、順位は前月から1つ下げ13位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年2月)

地域	北 信(1.50) (前年同月比0.00)				東 信(1.58) (前年同月比▲0.01)		中 信(1.64) (前年同月比0.17)			南 信(1.57) (前年同月比0.02)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.47	1.33	1.89	1.59	1.54	1.61	1.67	1.44	1.48	1.64	1.60	1.49
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.03	▲ 0.17	0.44	0.07	0.00	▲ 0.04	0.18	▲ 0.17	0.27	0.19	0.07	▲ 0.14
うち常用	1.28	1.31	1.74	1.48	1.41	1.67	1.43	1.42	1.41	1.56	1.39	1.43
前年同月比 (ポイント)	0.03	▲ 0.10	0.43	0.05	0.07	▲ 0.01	0.17	▲ 0.09	0.24	0.21	0.06	▲ 0.09

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」  
(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

